

平成22年2月期 第3四半期決算短信

平成21年12月28日

上場会社名 株式会社 ポイント

コード番号 2685 URL <http://www.point.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 稔晃

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 松田 毅

TEL 03-3243-6011

四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第3四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第3四半期	69,502	—	12,809	—	12,915	—	7,417	—
21年2月期第3四半期	61,767	18.5	11,767	18.0	11,919	18.6	6,723	17.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第3四半期	304.84	—
21年2月期第3四半期	272.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年2月期第3四半期	50,638	—	31,537	—	62.0	1,289.44
21年2月期	45,885	—	26,565	—	57.6	1,086.09

(参考) 自己資本 22年2月期第3四半期 31,374百万円 21年2月期 26,426百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	40.00	—	60.00	100.00
22年2月期	—	50.00	—	—	—
22年2月期 (予想)	—	—	—	60.00	110.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,000	11.9	16,100	2.1	16,200	1.6	9,000	11.2	369.88

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第3四半期	25,990,720株	21年2月期	25,990,720株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年2月期第3四半期	1,658,604株	21年2月期	1,658,593株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第3四半期	24,332,121株	21年2月期第3四半期	24,686,048株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「参考」個別業績予想

平成22年2月期の個別業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	11.0	15,800	1.6	16,000	1.2	9,000	12.0	369.88

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年3月1日から11月30日まで）におけるわが国経済は、国内民間需要の自立的回復力は弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直しつつあるとの認識が広がりましたが、当社グループの属するカジュアルウェア市場においては、厳しい雇用・所得環境が続く中、消費者の生活防衛意識の高まりや低価格志向の動きから、消費は低迷状況が続きました。

このような環境のもと、売上高につきましては、前年同期比12.5%増となりました。市況の冷え込みなどの影響を受け、国内既存店売上高は前年同期比95.8%と、通期計画（96.1%）をやや下回る結果となりました。

国内のブランド別では、「レプシムローリーズファーム」、「ヘザー」、「アパートバイローリーズ」等が引き続き高い伸び率を維持しました。

店舗展開も引き続き積極的に行ない、当第3四半期末時点での国内店舗数は、70店舗（内Eコマースサイト10店舗）の出店、5店舗の退店の結果、616店舗（内Eコマースサイト28店舗）となりました。

海外の店舗展開につきましては、台湾におきまして2店舗の出店及び2店舗の退店、香港におきまして5店舗を出店した結果、当第3四半期末時点での海外店舗数は、台湾17店舗、香港13店舗、計30店舗となりました。

収益面では、仕入・在庫・売価変更を適正にコントロールした結果、売上総利益率は62.2%と前年同期比0.1ポイント改善しました。

販売費および一般管理費率は、国内外ともに積極的且つ戦略的に店舗展開を推進したことおよび業績連動のインセンティブ拡充に伴う費用増等により前年同期比0.8ポイント増の43.8%となり、営業利益率は18.4%（前年同期比0.7ポイント減）となりました。

また、特別利益として、ストックオプションの失効に伴う新株予約権戻入益66百万円、関係会社株式売却益85百万円を計上する一方、特別損失として、固定資産除却損64百万円、店舗の賃借契約解除に伴う損失37百万円、3店舗の減損損失として61百万円、投資有価証券の評価損3億99百万円を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は695億2百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は128億9百万円（前年同期比8.9%増）、経常利益は129億15百万円（前年同期比8.4%増）、四半期純利益は74億17百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

（注）「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期比は参考値として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、47億53百万円増加して506億38百万円となりました。これは主に、売掛金が34億30百万円、有形固定資産が23億73百万円増加した一方、現金及び預金が8億73百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、2億18百万円減少して191億円となりました。これは主に、買掛金が10億57百万円増加した一方、未払法人税等が24億71百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、49億72百万円増加して315億37百万円となりました。これは主に、利益剰余金が47億40百万円増加したこと等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、29億6百万円減少して173億96百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、36億76百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が125億4百万円あったこと及び仕入債務が10億57百万円増加した一方、売上債権が34億27百万円増加したこと、商品が16億69百万円増加したこと、及び法人税等の支払いが73億26百万円あったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、39億43百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が29億31百万円あったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、26億44百万円となりました。これは主に配当金の支払が26億41百万円あったこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年9月30日に公表いたしました通期の連結業績予想及び個別業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

経過勘定項目の算定方法

一部の経過勘定項目については、投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、簡便な方法を採用しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用し、評価基準については、主に個別法による原価法から主に個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更に伴う損益の影響は軽微であります。

③ 「リース取引に関する会計基準」等の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号 平成19年3月30日改正）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号 平成19年3月30日改正）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、第1四半期連結会計期間から同会計基準及び適用指針等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、当社及び国内連結子会社は、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更に伴う損益の影響は軽微であります。

(追加情報)

店舗内装等の取得方法の変更

提出会社の店舗内装等については、前連結会計年度まで所有権移転外ファイナンス・リース契約により取得していましたが、取得形態を見直し、第1四半期連結会計期間から、全て購入契約により取得しております。

当第3四半期連結累計期間において取得した店舗内装等は、1,756百万円であります。なお、減価償却方法につきましては、耐用年数5年の定率法によっております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,941	15,814
売掛金	6,798	3,367
有価証券	3,498	4,496
商品	5,344	3,675
その他	1,337	1,106
貸倒引当金	△65	△36
流動資産合計	31,853	28,424
固定資産		
有形固定資産	5,369	2,995
無形固定資産	544	448
投資その他の資産		
敷金及び保証金	9,664	8,976
その他	3,388	5,226
貸倒引当金	△181	△186
投資その他の資産合計	12,871	14,016
固定資産合計	18,784	17,461
資産合計	50,638	45,885
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,420	10,363
未払法人税等	1,667	4,139
賞与引当金	1,610	830
その他	3,949	3,840
流動負債合計	18,648	19,173
固定負債		
引当金	386	114
その他	66	31
固定負債合計	452	146
負債合計	19,100	19,319

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,517	2,517
利益剰余金	34,944	30,203
自己株式	△8,677	△8,677
株主資本合計	31,444	26,704
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	△193
為替換算調整勘定	△82	△83
評価・換算差額等合計	△69	△277
新株予約権	21	66
少数株主持分	141	71
純資産合計	31,537	26,565
負債純資産合計	50,638	45,885

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)
売上高	69,502
売上原価	26,272
売上総利益	43,229
販売費及び一般管理費	30,420
営業利益	12,809
営業外収益	
受取配当金	51
その他	121
営業外収益合計	173
営業外費用	
持分法による投資損失	41
支払家賃	23
その他	1
営業外費用合計	66
経常利益	12,915
特別利益	
新株予約権戻入益	66
関係会社株式売却益	85
特別利益合計	152
特別損失	
固定資産除却損	64
賃貸借契約解約損	37
減損損失	61
投資有価証券評価損	399
特別損失合計	563
税金等調整前四半期純利益	12,504
法人税、住民税及び事業税	4,882
法人税等調整額	205
法人税等合計	5,087
少数株主損失(△)	△1
四半期純利益	7,417

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	12,504
減価償却費	886
賞与引当金の増減額(△は減少)	975
投資有価証券評価損益(△は益)	399
売上債権の増減額(△は増加)	△3,427
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,669
仕入債務の増減額(△は減少)	1,057
未払金の増減額(△は減少)	266
その他	△62
小計	10,931
利息及び配当金の受取額	72
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	△7,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,676
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,931
無形固定資産の取得による支出	△189
敷金及び保証金の差入による支出	△982
敷金及び保証金の回収による収入	223
長期前払費用の取得による支出	△160
その他	99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△2,641
その他	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,644
現金及び現金同等物に係る換算差額	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,906
現金及び現金同等物の期首残高	20,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,396

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月1日～平成20年11月30日)

	前年同四半期 (平成21年2月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
I 売上高	61,767
II 売上原価	23,412
売上総利益	38,355
III 販売費及び一般管理費	26,587
営業利益	11,767
IV 営業外収益	184
V 営業外費用	31
経常利益	11,919
VI 特別損失	520
税金等調整前四半期純利益	11,398
法人税等	4,678
少数株主損失	3
四半期純利益	6,723

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月1日～平成20年11月30日)

	前年同四半期 (平成21年2月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	11,398
減価償却費	497
賞与引当金の増減額(減少:△)	596
貸倒引当金の増減額(減少:△)	64
売上債権の増減額(増加:△)	△3,812
たな卸資産の増減額(増加:△)	△1,584
仕入債務の増減額(減少:△)	1,353
未払金の増減額(減少:△)	777
その他	△42
小計	9,248
利息及び配当金の受取額	74
利息の支払額	△1
法人税等の支払額	△4,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,537
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△240
投資有価証券の取得による支出	△0
保証金敷金の支出	△1,174
保証金敷金の返還による収入	199
長期前払費用(投資その他の資産「その他」)の支出	△327
その他	△132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,675
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△19
配当金の支払額	△2,180
自己株式の取得による支出	△1,999
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,199
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△7
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△1,345
VI 現金及び現金同等物の期首残高	13,849
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	12,504

6. その他の情報

(1) 店舗業態別出店・退店の状況

店舗業態	店 舗 数					
	前連結 会計年度 末	当第3四半期連結累計期間中の異動				当第3四 半期連結 会計期間 末
		出 店	変 更	退 店	増 減	
レイジブルー	47	3	—	—	3	50
ローリーズファーム	116	5	—	△3	2	118
グローバルワーク	140	8	—	—	8	148
ジーナシス	66	8	—	—	8	74
ヘザー	49	8	—	—	8	57
ハレ	30	3	—	△1	2	32
ナインブックス (注) 2	16	2	—	—	2	18
アンダーカレント	2	—	—	—	—	2
アパートバイローリーズ	20	8	—	—	8	28
レブシムローリーズファーム	54	16	—	—	16	70
インメルカート	9	2	—	—	2	11
トランスコンチネンツ	2	5	—	△1	4	6
コレクトポイント	—	2	—	—	2	2
国 内 合 計	551	70	—	△5	65	616
ローリーズファーム(台湾)	11	—	—	△1	△1	10
レイジブルー (台湾)	3	—	—	—	—	3
ジーナシス (台湾)	3	—	—	△1	△1	2
コレクトポイント (台湾)	—	2	—	—	2	2
ローリーズファーム(香港)	3	1	—	—	1	4
ジーナシス (香港)	4	—	—	—	—	4
レイジブルー (香港)	—	1	—	—	1	1
コレクトポイント (香港)	1	3	—	—	3	4
海 外 合 計	25	7	—	△2	5	30
合 計	576	77	—	△7	70	646

- (注) 1. 複数ブランドを商品展開している店舗は、その店舗を運営しているブランドで集計しております。
2. ナインブックスには、ブランドアウトレットを含んでおります。
3. 店舗には、他社Eコマースサイト、自社Eコマースサイトを含んでおります。

(2) ブランド別売上高の状況

ブランド	期 間	当 第 3 四 半 期 連 結 累 計 期 間		前年同期比増減率(%)
		売上高(百万円)	構成比(%)	
レイジブルー		4,566	6.6	9.1
ローリーズファーム		18,271	26.3	2.1
グローバルワーク (注) 1		16,612	23.9	△0.9
ジーナシス		8,147	11.7	7.4
ヘザー		4,737	6.8	47.9
ハレ		2,938	4.2	6.1
ナインブロックス (注) 2		3,059	4.4	30.0
アパートバイローリーズ		2,680	3.9	24.9
レブシムローリーズファーム		6,424	9.3	62.8
インメルカート		581	0.8	167.1
トランスコンチネンツ		221	0.3	—
その他		2	0.0	—
国 内 合 計		68,245	98.2	11.7
ローリーズファーム(台湾)		350	0.5	△12.6
レイジブルー (台湾)		58	0.1	△7.0
ジーナシス (台湾)		80	0.1	74.1
ローリーズファーム(香港)		285	0.4	162.1
ジーナシス (香港)		204	0.3	179.5
ハレ (香港)		159	0.2	—
ヘザー (香港)		51	0.1	—
レイジブルー (香港)		66	0.1	—
海 外 合 計		1,257	1.8	81.7
合 計		69,502	100.0	12.5

(注) 1. 当期よりアンダーカレントは、グローバルワークに含めて集計しております。

2. ナインブロックスには、ブランドアウトレットを含んでおります。

(3) 商品部門別売上高状況

商品部門	期 間	当 第 3 四 半 期 連 結 累 計 期 間		前年同期比増減率(%)
		売上高(百万円)	構成比(%)	
メンズ(ボトムス・トップス)		10,948	15.8	5.3
レディース(ボトムス・トップス)		47,767	68.7	15.3
雑 貨 ・ そ の 他		10,786	15.5	8.7
合 計		69,502	100.0	12.5

(注) その他には、ポイント引当金繰入額等を含んでおります。